

## 2.28 極寒の南極大陸を語る！

保健相談センターで南極観測に3度参加した成瀬廉二さんが南極の自然や基地生活について語りました。

南極大陸は日本列島の約37倍の面積があり、氷が溶けたら面積が半分くらいの島国であることや内陸部では意外にも砂漠並の降水量であると説明されました。

会場には、実際の南極の氷が展示され、数万年前の空気を含んだ氷を参加者は珍しそうに触って帰りました。ちなみに、南極の氷はミネラル分が低いのであまりおいしくないそうです。



## 3.18 春の感謝祭を盛大に開催

水木しげる先生への感謝と卒寿のお祝いの気持ちを込めた「春の感謝祭」が開催され、大勢の市民や観光客の皆さんでにぎわいました。

この日行われたパレードでは、重さ110キロのクロマグロが、水木しげる記念館前から妖怪神社までリヤカーで運ばれ、神社に奉納されました。

その後も、クロマグロの刺身やカニ汁の振る舞いの他、境港大漁太鼓や境高校吹奏楽部の演奏などが披露されました。

## 3.18 育児の不安にアドバイス

子どもの成長発達を考える講演会が保健相談センターで行われ、子育て中の親や保育士、幼稚園教諭など約150人が参加しました。

鳥取大学特別支援教育学分野教授の小枝さんが講師となり、発達障がいを含めた子どもの成長発達についての特徴や気をつける点を伝えてくれました。

保育の現場では、小さな成功体験を増やしてあげること、記憶に頼らず記録すること、具体的な情報共有が大事であるとアドバイスしました。



## 3.21 愛称は「かにもっち」

「境港新かにもし」のイメージキャラクターの愛称は、「かにもっち」に決定しました。応募総数1156点の中から秋田市の畠山さんの作品が選ばれました。

愛称発表は「境港新かにもし」の提供店舗である<sup>あくに</sup>廻国で行われました。発表後は、鳥取県中西部で食のまちおこしに取り組む団体代表者が集い、情報発信や連携について議論を交わしました。

「境港新かにもし」は1万食を達成し、今後の盛り上がりにも期待です。